

# 4号特例縮小、構造設計対応6割

## 業績は改善傾向、非住宅対応も増

### ネットイーグルのプレカット工場調査

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）が全国のプレカット工場を対象に実施したアンケート調査で、4月の法改正「4号特例の縮小」への対策（複数回答）を尋ねたところ、「外注する」が94社と全回答社224社（無回答3を除く）の42%を占めたが、「壁量／柱の小径に対応」が78社（35%）、「許容応力度計算まで対応」が85社（38%）あり、重複を差し引いた137社（61%）、6割の工場がいずれかまたは両方で設計対応する意向であることが分かった。

調査は1月7日～2月10日に実施。295社に送付し、227社の回答を得た。回答率は77%。

今期の業績予想では「減収減益」を見込む工場が44%と前年の52%から減少する一方、「増収増益」が11%（前年8%）、「減収増益」が7%（同5%）と増益が増え、業績は改善傾向にあることが分かった。

工場の稼働状況も、低下した工場は「少し低下」49%（同46%）、「大きく低下」9%（同14%）の合計58%（同63%）と前年から減少する一方、増加した工場は「少し増加」13%（同7%）、「大きく

場に対策（複数回答、全回答数割合）を尋ねたところ、「建て方請負」26%、「パネル化」22%、「建材販売」10%、「サッシ販売」8%、「住設販売」9%、「サイディングPC」4%。

4号特例の縮小については、「影響ある」47%、「影響は大きい」15%、「影響は少しある」29%で、91%が何らかの影響があるともいえることが分かった。ただ、対策（複数回答）で「建築士事務所登録をする」は25社（11%）にとどまり、業として構造設計業務を取り込むことには依然消極的なことも分かった。

一方、CADオペレーター不足については「少し感じた」38%（前年36%）、「強く感じた」29%（同22%）になり、不足感は

前年よりも高まった。職人不足は「少し感じた」50%（同53%）、「強く感じた」26%（同21%）で、強く感じた工場が増えた。

対策（複数回答、全回答数割合）としてはパネル化が「軸組パネル化」18%（同21%）と「金物工法パネル化」15%（同14%）の合計で33%（同35%）、「プレカット十建て方工事」が25%（同28%）、「多能工の養成」が21%（同22%）と上位を占めたが、「サイディングPC」が5%（同4%）、「ユニット鉄筋基礎」が4%（同3%）と微増した。

非住宅プレカットの設備対応は「対応済み」が66%と前年の45%から大幅に増えた。設備対応している会社の年間の加工坪数は「1000坪未満」が

30社（前年32社）、「1000～2000」が33社（同23社）、「2000～3000」が7社（同14社）、「3000坪以上」が39社（同28社）になり、1000坪未満が減る一方、3000坪以上が増えた。